



▲調べる学習コンクール表彰式

2月には、様々な分野の表彰式が開催され、各賞を受賞された方々にお会いしました。

播磨町図書館を使った調べる学習コンクールの表彰式では、日頃疑問に思っていることや不思議に思っていることについて図書館を使って調べ、まとめられた応募作品の中から、特に優秀な作品について表彰されました。小学生の部も大人の部も力作が多い中で、鋭い視点と深い洞察力のもとに構成された入選作品の数々にはとても驚かされました。自主的に学習する試みは、探求することの楽しさを知るだけでなく、子どもと一緒に学ぶことで、ご家族にとっても新しい世界に目を向ける機会になったと思います。今回の入選は、日頃から多くの書物と出会い、新しい自分を開拓しながら、知識の習得などに「努力」し続けた成果だと思えます。

また、スポーツ賞表彰式で、各賞を受賞された方については、心・技・体のすべてにおいて日頃から鍛錬し続けてきた賜物であると思えます。良いことや嬉しいことはほんの一瞬かもしれない。しかし、その一瞬のために、目標に向かって日々汗と涙を流し「努力」し続けてこられた方々に心より敬意を表します。

どんな分野であっても、第一線でご活躍されている方々は、人知れず、そして人一倍「努力」を積み重ねてこられていると思えます。そのような方々にお会いし、私自身も「努力は裏切らない」というキーワードを改めて心に刻みました。

「ワンチームはりま」のまちづくりに向け、まだまだ「努力」していかなければなりません。未来に向かって、みんなで考え、みんなで話し合い、みんなの力を合わせたまちづくりを進めていきたいと思います。

播磨町長 佐伯 謙作

播磨町教育広報

教育委員会地域学校教育課
学校教育係 ☎079-435-0545

子どもたちが読書を楽しむためには…

播磨町学校司書 乾孝子

私は、学校司書として、令和2年度より町内の小中学校6校の学校図書館（図書室）にて、蔵書管理および、読書支援活動を担っています。今年度は、給食時間に放送読書を始めました。「今日は何を読むの？」と尋ねる子どもたちのキラキラした目に喜びとやりがいを感じる日々です。

読書活動の効果は目に見えにくいものと言われますが、成果は着実に表れています。「読み聞かせ」の取り組みにより、絵本の世界に没頭する、

様々なジャンルの本に興味を持つといった姿の児童生徒が増えてきました。読書活動で身につけた聞く力や想像力・理解力は、国語力はもちろん、豊かな言語感覚を養い生涯にわたり良い影響を与えることでしょうか。しかし、図鑑ばかりを見てお話（物語や小説などの長文）が読めないなどの心配を伺うことがあります。子どもたちは興味を持った部分を読み、少しずつ知識をため込んでいきます。その知識は、一生ものです。おとなが子どもたちの読書活動を



よく学び
よく育つ

楽屋裏

今月、播磨町消防団女性分団の皆さんが訓練をしている場に取材を行いました。10月に行われる全国女性消防操法大会に出場することになり、その練習を始めたばかりでした。ポンプを正確に操作する手順を、ベテラン団員から指導を受けながら、繰り返し声に出し、動きを体で覚えていきます。覚えることが多く大変だと思えます。うまくできるようになると、キビキビとした美しい所作になります。秋が楽しみです。（宮）



▲防災フェスタ2022での防災啓発劇

どんな人が集まっているのですか
結成当初（平成18年）に、子育て真っ最中だった女性たちでスタートしました。現在、家庭や子育て、仕事も消防団活動も全力で楽しんでいるメンバー14人で構成しています。

活動内容を教えてください
防災啓発劇、防災講座、防災トークショー、地域の放水訓練での「水消火器の放り方と運搬訓練」の指導など。毎月発行「けすぞう新聞」。消防出初式、操法大会への参加など。

伝えたいこと その2
私たちと一緒に活動していませんか？メンバーを募集しています。消防団ですが女性分団は火災現場出動はしません。子どもが小さくても大丈夫。お仕事が忙しくても大丈夫。私たちもそうでした。得意なこと、好きなこと、やりたいことを楽しみなながら、防災情報をお伝えする活動をやってみませんか？

伝えたいこと その1
幼稚園、保育園、小学校、子供会、ふれあいサロン、コミセンや公民館、地域の人の集まりなど、町内や近隣の市町のイベントの大小は問いません。呼んでください。ご希望の内容で、笑いと防災情報をお伝えします。



播磨町の団体や活動の発表・交流会がありました

今回、介護支援ボランティア事業として、町内の団体や活動を知り、交流する研修会があり、約40名が参加されました。研修前半は、私から「播磨町は人口が増えているが、なぜ地域では人がいないか、団体が継続できないのか」を自治会加入率や人口推移等のデータからお話し、さらに居場所づくりのポイントをいくつかまとめて紹介しました。

後半は、シルバー人材センター、はりまある、シニアクラブ連合会、野添コミセン、社協ボランティアセンターから活動紹介がありました。例えば、野添コミセンの伊田館長は、毎月開催されているスマホ教室を紹介され、「スマホの使い方方を学ぶだけでなく、教室が居場所にもなっている」と話されました。



▲事例発表中の野添コミセン伊田館長

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。



団体名 播磨町消防団女性分団

分団長 水谷典子さん

播磨町で活動する人・仲間たち（団体）を紹介します。お問い合わせは企画課秘書広報係まで。
☎079-435-0356

まちアド通信

協働推進課住民協働係
☎079(435)2364

まちづくりアドバイザーがお届けする

地域包括支援センターが主催し、「介護予防につながるシニアの就労的活動と社会参加」と題した研修会が開催されました。